

学童保育の量の見込み・実施場所の確保対策（案）

○量の見込み

①算出方法

- ・小学 1 年は R7～R11 の推計人口に過去の登録率の伸び率を加味した想定登録率を乗算
- ・小学 2 年以降は前年度の登録児童数（R7 の小学 2 年算出の場合は R6 の小学 1 年登録数）に進級時の継続率を乗算
- ・継続率は過去の伸び率を加味した想定継続率を算出

②推計人口

	R7	R8	R9	R10	R11
小 1	10,364	10,229	9,534	9,364	8,707
小 2	11,302	10,377	10,219	9,526	9,374
小 3	11,769	11,310	10,395	10,239	9,541
小 4	11,947	11,785	11,321	10,400	10,244
小 5	12,380	11,980	11,804	11,350	10,429
小 6	12,233	12,401	11,985	11,815	11,363
合計	69,995	68,082	65,258	62,694	59,658

③登録率伸び率

	R2～R6 平均	R3～R6 平均	R4～R6 平均	R5～R6 平均
小 1	2.33	2.38	2.60	2.11
小 2	2.09	2.82	3.17	3.35
小 3	2.14	2.31	2.93	2.90
小 4	1.47	2.22	2.37	2.61
小 5	0.97	1.28	1.51	1.65
小 6	0.58	0.86	0.98	1.21

④登録率の伸び率を加味した R7～R11 想定登録率 (R4～R6 平均使用)

	R6 (実績)	平均伸び率	R7	R8	R9	R10	R11
小1	49.31%	+2.60%	51.91%	54.51%	57.12%	59.72%	62.33%
小2	45.22%	+3.17%	48.39%	51.56%	54.73%	57.90%	61.07%
小3	35.69%	+2.93%	38.62%	41.55%	44.49%	47.42%	50.36%
小4	22.43%	+2.37%	24.80%	27.17%	29.55%	31.92%	34.29%
小5	10.50%	+1.51%	12.01%	13.52%	15.03%	16.55%	18.06%
小6	5.03%	+0.98%	6.01%	6.99%	7.97%	8.94%	9.92%

⑤継続率伸び率

	R2～R6 平均	R3～R6 平均	R4～R6 平均
小1⇒2	0.63	0.45	1.03
小2⇒3	2.50	2.00	1.05
小3⇒4	3.46	3.47	1.91
小4⇒5	4.27	2.69	2.86
小5⇒6	6.61	5.41	5.89

⑥継続率の伸び率を加味した R7～R11 想定継続率 (R4～R6 平均使用)

	R6 (実績)	平均伸び率	R7	R8	R9	R10	R11
小1⇒2	95.61%	+1.03	96.64%	97.67%	98.70%	99.72%	99.72%
小2⇒3	85.49%	+1.05	86.54%	87.59%	88.64%	89.69%	90.74%
小3⇒4	68.48%	+1.91	70.39%	72.31%	74.22%	76.14%	78.05%
小4⇒5	53.05%	+2.86	55.91%	58.77%	61.63%	64.49%	67.35%
小5⇒6	57.08%	+5.89	62.97%	68.86%	74.75%	80.64%	86.53%

(参考) ①～⑥を用いて算出した結果 (案)

	R6 (実績)	R7	R8	R9	R10	R11
小1年	5,402	5,380	5,576	5,445	5,592	5,427
小2年	5,129	5,221	5,254	5,503	5,430	5,577
小3年	4,128	4,438	4,573	4,657	4,936	4,928
小4年	2,685	2,906	3,209	3,394	3,546	3,853
小5年	1,245	1,501	1,708	1,978	2,189	2,388
小6年	617	784	1,034	1,277	1,595	1,894
合計	19,206	20,230	21,354	22,254	23,288	24,067
前年増減	-	1,024	1,124	900	1,024	779

(参考) 前回算出方法

- ・ H31 の就学児の保護者の利用意向率を R2 の推計人口に乗算
- ・ H31 登録実績と上記算出で乖離のある学年は、進級時の継続率を使用し R2 の児童数を算出
- ・ R3 以降は過去の登録数の伸び率を加味して前年度の登録児童数に乗算

		R2	R3	R4	R5	R6
小1	計画値	5,328	5,434	5,543	5,654	5,767
	実績値	4,712	5,045	5,105	5,364	5,402
小2	計画値	4,442	4,509	4,577	4,646	4,716
	実績値	4,488	4,327	4,644	4,829	5,129
小3	計画値	3,505	3,551	3,597	3,644	3,692
	実績値	3,351	3,500	3,526	3,921	4,128
小4	計画値	1,989	2,037	2,086	2,137	2,189
	実績値	2,122	1,947	2,154	2,347	2,685
小5	計画値	775	784	793	802	811
	実績値	843	854	928	1,081	1,245
小6	計画値	576	578	581	583	585
	実績値	353	314	395	475	617
計画値合計		16,615	16,893	17,177	17,466	17,760
実績値合計		15,869	15,987	16,752	18,017	19,206

○学童保育の実施場所の確保策（小学校の余裕教室等の活用方策、教育委員会等との連携）

（１）現状

- ・学童保育を必要とする全ての児童について、本市が望ましい基準として定めているガイドライン（「神戸の放課後児童クラブ（学童保育）の基準」にて1人/1.98人^m）基準をおおむね満たして受け入れるという方針の下、実施場所の確保に努めている。

 - ・既存の学童保育施設だけでは対応できない場合は
 - ① 教育委員会と連携し、各小学校の状況を踏まえた上で、学校内での実施場所の確保。
 - ・余裕教室など学校内施設の改修
 - ・敷地内での別棟の建設などによる専用室の確保
 - ・余裕教室などの放課後一時利用
 - ② 学校内で実施場所を確保できない場合、地域の会館や民間物件の活用。
 - ③ 公設学童の整備が困難な小学校区では、民間団体の施設、ノウハウ、人材を活用するため、1日10人以上の児童について学童保育を実施する場合に、運営費助成による支援。
- ※なお、一時的にガイドライン基準を満たさず、過密状況となるところについては、
- ① 学校の空き教室や地域福祉センター等の一時利用。
 - ② 長期休暇時には学校の運動場や公園を遊び場として一時利用。
-
- ・令和5年8月には、こども家庭庁、文部科学省の連名で、放課後児童クラブの待機児童の解消等に向けた学校施設の活用等についての通知が出され、さらなる学校施設の利用促進が求められている。（「放課後児童クラブの待機児童の解消等に向けた学校施設の活用等について」令和5年8月31日付けこ成環第125号こども家庭庁成育局生育環境課長、5教地推第71号文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長通知）
- ・国の通知も踏まえ、一層の学校施設の活用を進めるため、令和5年12月には、教育委員会より、小学校施設における学童保育コーナーの利用拡大について各小学校へ通知が出された。

（２）他都市の状況

- ・今後の設置予定場所は「小学校内等が中心」が7割弱を占め、「余裕教室の徹底活用等に向けた検討」「放課後等における学校施設の一時的な利用の促進」等が行われている。（令和4年度厚生労働省放課後児童クラブの待機児童対策に関する調査研究報告書より）

（３）課題

- ・学童需要のピーク時期を見極めつつ、急増する学童保育ニーズに対応する施設を小学

校以外の場で早期に確保することは極めて困難であり、学童需要が急増する地域の小学校では、図書室、家庭科室、多目的室等の特別教室を緊急措置として一時利用していく必要がある。